

# 館報

# はた



令和元年11月1日現在

世帯数	6,199戸
人口	15,686人
男	7,553人
女	8,133人

第18回

## まほろばウォーク開催!!



大型台風の通過から1週間、前日までの雨も上がり、ウォーキングには心地よい天候となりました。10月20日曜日に、恒例の「まほろばウォーク」が開催されました。今年、3kmコースと6kmコースの2つに分かれ、スタッフも含め、約60人の参加となりました。



水車道コース

みつば保育園を出発し、3kmコースは波田堰に沿って波田水車道を歩きました。木漏れ日とわずかに色づいた木々を眺めながらのウォーキングは、改めて波田の豊かな自然を実感できる絶好の機会となりました。仲間との明るい会話とともに、各々が緩やかな時の流れ



ゴール

を楽しみました。親御さんと一緒に参加した子ども達も終始笑顔で、他の参加者も思わず温かい気持ちになりました。

終点のみつば保育園に戻るころには、朝の冷え込みは弱まり、体はほかほか、心も体も日々の疲れが飛び去り、すっきり穏やかな気持ちになりました。

季節柄、天候不順の日々が多く、このまほろばウォークもなかなか毎年続けて開催することができないとのことですが、来年も晴天に恵まれ1人でも多くの皆さまに参加いただきながら、この場でしか味わえない爽快感を分かち合うことができればと思う1日でした。



## 20区 レクリエーション会 及び焼肉大会

10月27日(日)、20区町内公民館事業として、波田学院体育館に於いてレクリエーション会が行われました。

老若男女誰でも楽しめる内容で「的あて」「ポケットボール」「トランプ」「片足立ち」の四つのゲームで、総得点を競いました。



ポケットボール

最初に準備運動をしてから開始し、皆さん和気あいあいと楽しんでいました。

実際にプレーをしてみると、意外と難しいものもあり苦戦する場面もありましたが、ケガも無く無事終了しました。

このあと場所を移して20区公民館に於いて焼肉大会が行われ、レクリエーション会の成績発表と、同日行われた町内公民館対抗マレットゴルフ大会参加者の三位入賞の発表も



焼肉大会

当日は天候に恵まれ大勢の皆さんで賑わい終始和やかな雰囲気有意義な1日になったと思います。

これも準備する皆さんと参加された方々の協力があったこそと思います。また会場を設営する際に、テントの組み立てを行いました。最近の災害を見ても、いざという時の避難場所確保という点でも良い経験ができ、有意義な1日を過ごすことができました。



テント設営

### 野球も生涯スポーツ 楽しさを伝えたい



波田白樺ジュニアクラブは「野球の楽しさを伝えたい」をモットーに野球を通じて多くの経験ができればと現在クラブ員32名で活動している少年軟式野球のクラブチームです。クラブ名は、波田地区で昔から活動している社会人野球チーム「白樺クラブ」から名付けました。野球のすそ野が少しでも広がり盛んになればとの思いがこめられています。

去る9月14日にメットライフドーム(西武ドーム)へクラブ員と引率者総勢50名でプロ野球観戦ツアーに行きました。身近でトッププロの試合観戦ができる環境がないため、3年前から行っているイベントですが、子どもたちが球場の雰囲気、プレーを生で味わう大切さを実感しています。そんな効果もあってか、観戦翌日から開催された松本ライオンズクラブ旗争奪少年軟式野球大会ではチーム一丸となってプレーし優勝することができました。

さて、昨今、日本選手が国際的に活躍するスポーツも多様化し、スポーツ観戦を楽しみにしている人も多いことと思

います。波田地区でも多くのスポーツ団体が存在しスポーツが盛んに行われています。一方で、スポーツの競技別人口の傾向は変わってきており、町内公民館対抗の参加競技も同様に感じます。

今、野球人口の減少に歯止めがかからないと言われていきます。ひと昔前は身近にグローブがあつてキャッチボールを行い、幼少の頃は友だちを集めては野球をやった時代。その頃はテレビ観戦の機会も多く、野球に親しんだ人たちが下地になって、野球人口の底辺は拡大し、専門的な野球経験者でなくても一緒にできるスポーツでした。波田地区でも早起き野球が盛んな時代は20チームを超え、40歳以上でナイターソフト、今現在50歳以上、60歳以上のそれぞれにOB野球チーム「波田ミドルオールド」があり、生涯スポーツとして楽しんでいます。それは幼少のころから慣れ親しんだスポーツであるからではないでしょうか。

波田地区の生涯スポーツとしても野球を楽しむ環境を、昔のようにはいかなくても少しでもすそ野が広がるよう野球の楽しさを伝えていけたらと思います。

### 5区 長寿と健康を祝う会

9月29日に5区公民館にて、日頃お世話になっている先輩方15人を招き、感謝と長寿を願いながら「長寿と健康を祝う会」が開催されました。町会長の挨拶の後に2つのグループに分かれてゲームを楽しみました。

最初にお手玉を的に投げつけてどの点数の柵に乗るか競い合うゲームを楽しみ、次に錘のついた紐を投げてどの点数の横棒に引っかかるかを競い合うゲームを行いました。

初めての人も多かった様ですが、皆真剣になり歓声をあげながら楽しみました。その後、談笑をしながら食事を楽しみました。久しぶりに会った人もいて笑いの絶えない時間になりました。その後に「アルパを楽しむ会」の皆さん三人によるアルパの演奏を聴きました。

アルパとは別名インディアンハー



プとも呼ばれるハープの一種で、南米パラグアイの民族楽器です。大人の背丈位の大きさで、両手で弦を弾き一台でメロディーと伴奏を演奏することが出来ます。三人の方から楽器の詳しい説明もありました。

南米の曲から童謡、日本の懐かしい曲まで30分余り素晴らしい演奏を聴かせていただきました。皆その音色の美しさに時を忘れて聴き入りしました。最後はアルパの伴奏に合わせて「ふるさと」を合唱しました。そのあと、参加した先輩の代表の方からお礼の言葉をいただきました。

楽しい時間はあっという間に過ぎてしまうもので、皆さんの健康と長寿を願いながら閉会となりました。



今、テレビやラジオで俳句の番組を見たり聞いたり

します。「五七五」の十七音の中に自分の言いたいことを相手に読みとってもらうことです。季語を取り入れ四季を感じるのですが、季語は何千語もあり、時候、天文、地理、生活、行事、動物、植物と、このように分類があるそうです。時候には、元旦、立冬、小春、花時。天文には、オリオン、から風、春の光。地理には、春の海、野山。生活には、七夕、盆路、吊し柿。行事には、秋祭、墓参、灯籠流し。動物には、稲雀、鯛、赤蜻蛉。植物には、柿、栗、朝顔、草の秋、草の香、野菊などがあるそうです。

すいかや朝顔は夏の季語だと思っていたのですが秋の季語だそうです。甘酒は冬の季語だと思っていたら夏の季語だそうです。最後に一句。

「赤トンボ卵産みにしビニールに」「ビニールに卵産みにし赤トンボ」さらさら光るビニールを水と間違えて卵を産む様子を俳句にしてみましたが、俳句になっていないかわかりませんが楽しみたいと思います。